



エコサスクリーン

# ECOSAS クリーン



環境負荷軽減

ECS-C05

ECS-C20



ISO9001 認証取得工場にて製造

容量：5ℓ / 20ℓ

## 自然にやさしい油処理剤



### 使いやすさと安全性

中和剤（乳化剤）と言われるもののほとんどは、第三石油類の危険物扱いで、備蓄には消防署への届け出が必要です。「ECOSASクリーン20」は、水系洗剤なので危険物扱いにはならず、消防署への届け出も不要、また備蓄量も制限がありません。また本製品は、中性のため、自然界のpH（ペーハー）領域を侵しません。



### 自然を大切にする 驚きの分散力

中和剤は「乳化剤」と言われる通り、散布すると水が乳白色になる事から、河川や湖沼管理者は散布を厳しく制限しています。本製品は油をマイクロオーダーまで微細化し、水を汚す事なく、油が目の前から消えてしまいます。あとは自然界のバクテリアが油分を処理してくれます。



### 驚異的な経済性

他社の中和剤は原液使用ですが、本製品は河川水、海水、泥水等で20-30倍に希釈して使用するため驚異的な経済性を実現しました。油流出現場の油混じりの水でも希釈可能です。

### ECOSAS クリーンの優れた特性

YouTube

動画でご確認いただけます



<https://aspia-japan.co.jp>

ASPiA JAPAN 株式会社

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-31-10 オラシオンビル 8F

TEL : 03-5821-0101 FAX : 03-6435-3660

# 流出油に対する作業手順



①オイルフェンスで拡散を防止する。



②吸着マットで、できる限り回収する。



③ECOSAS クリーンでの残油処理作業。

## 河川・海・池での場合

- ①油回収後、原液30～50倍の希釈液（海水・河川水・水道水など）を散布。（高圧洗浄機を使用すると効果的）
- ②油紋・油膜が消えればOKです。（消えない時は2～3回散布作業を繰り返してください）

## 土壌の場合

- ①20倍の希釈液を回収出来なかった油量の2～3倍散布し、同量の水を散布。
- ②上記作業を一日、2～3回3～4日繰り返してください。（土壌を攪拌すると効果的です。）

## コンクリート・アスファルトの場合

- ①原液5～10倍の希釈液（海水・河川水・水道水など）を回収出来なかった油量の2～3倍散布しブラシ等で、こすり洗い後水で流してください。（油紋・油膜が消えない時は上記作業を2～3回繰り返してください。高圧洗浄機での作業では20倍の希釈液でも効果があります。）

# 従来の洗剤との比較

| 比較項目    | 従来の洗剤   | ECOSAS クリーン 20  |
|---------|---|---|
| 価格・使用方法 | 安い商品 原液で使用<br>高い商品 200～300倍希釈                     | 5～500倍希釈のため <b>経済的</b>  |
| 油の物性    | 高分子状態を維持。自然分解がしにくく、油が腐敗し悪臭を発生。<br>スポンジやたわしに油分が残る。 | <b>微細化</b> 。自然分解され油が <b>残らない</b> ため悪臭の発生を抑えられる。<br>スポンジやたわしに油分が <b>残らない</b> 。 |
| 発泡性     | 大。すすぎ時間・水量大。                                      | <b>低発泡性</b> 。すすぎ時間・水量少。   |
| 自然分解性   | 難分解   | <b>生分解</b> しやすい   |
| 水素イオン濃度 | 一般にアルカリ性  | <b>中性</b>   |
| 臭い      | 一部香料入り  | <b>無臭</b>   |
| 色       | 一部着色剤入り   | <b>無色</b>   |
| 界面活性剤   | 20～70%  | <b>5.5%以下</b>   |
| 人体への影響  | 肌荒れ、爪割れ   | <b>無害</b>   |
| 施設への影響  | 排水管、桝、側溝での詰まり。<br>オイルボールの発生                       | 排水管、桝、側溝での詰まり <b>解消</b> 。<br>オイルボールの <b>発生無</b> 。                             |